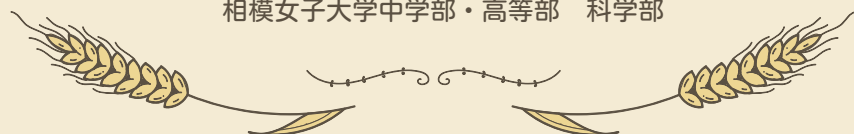


「ゆめちから」栽培研究プログラム

第13期成果発表会
相模女子大学中学部・高等部

ゆめちから栽培研究プログラム 成果発表

相模女子大学中学部・高等部 科学部



学校紹介

- ・相模女子大学中学部・高等部
- ・神奈川県相模原市にある
- ・科学部の中学生15名が活動



校舎の前に
プランターを
設置して、
ゆめちからを
栽培しました！

地域紹介（相模女子大学の自然）



地域紹介（気候の特徴）

	相模原市	全国平均
年間平均気温	16.3℃	17.6℃
年間平均降水量	1637mm	1550mm
年間日照時間	1943時間	2047時間

気温、降水量、日照時間
全国平均と大きな違いが
なく、標準的な地域です



学園キャラクター
さがっぱ・ジョー

科学部の活動紹介



Our team



研究テーマ（目標）

プランター栽培で同じ量の肥料から
より多くのゆめちからを収穫する！！



仮説

肥料を一度にまとめて与えるよりも、
少量ずつ分けて与えた方が肥料の吸収率が上がり、
より多くの小麦が育つのではないか？



活動内容

10月 施肥計画
11月 土づくり
播種①
12月 播種②
1月 麦踏み
2～5月 追肥
4月 ネット設置
6月 収穫
7月 脱穀

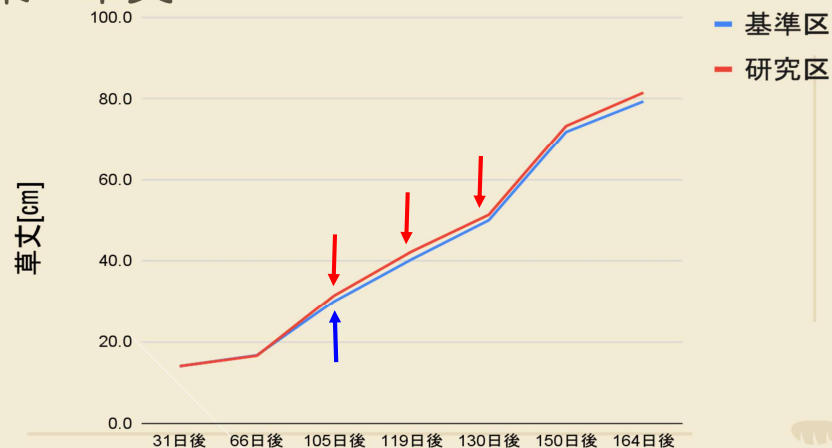


施肥計画

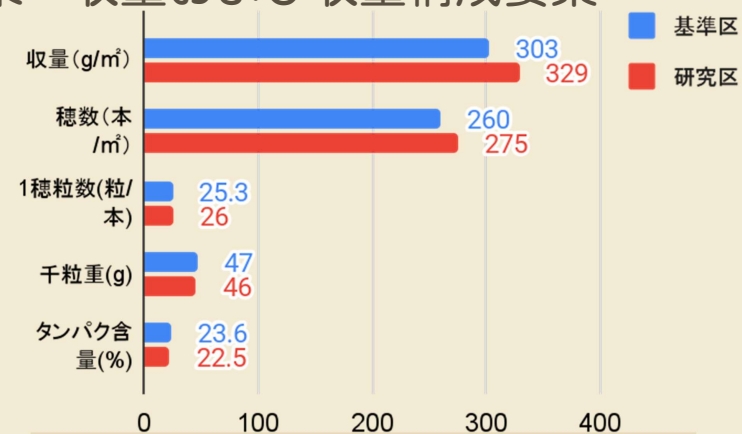
	基肥	起生期	止葉期
基準区	7.5 g	13.5 g	9 g
研究区	7.5 g	4.5 g × 3回	3 g × 3回

基準区と研究区で与える肥料の総量は変えずに、研究区のみ、起生期と止葉期に3回に分けて肥料を与えた。

結果：草丈



結果：収量および収量構成要素



考察

- ・収量、穂数、1穂粒数は、研究区の方が多い。
- ・タンパク質含量は基準区の方が多いという結果だったが、収量×タンパク質含量の値は、基準区<研究区となった。

考察

- ・収量、穂数、1穂粒数は、研究区の方が多い。
- ・タンパク質含量は基準区の方が多いという結果だったが、収量×タンパク質含量の値は、基準区<研究区となった。

仮説の通り、肥料を
分けて与えた方が
たくさん収穫できる
がっば！



今後の展望

- ・千粒重とタンパク含量は、研究区の方が少なかった。
収量もタンパク質含量も増える条件を探していきたい。

今後の展望

- ・千粒重とタンパク含量は、研究区の方が少なかった。
収量もタンパク質含量も増える条件を探していきたい。
- ・自分たちで栽培したゆめちからを、美味しく食べるための研究もしたい！

